

## 事務事業評価調書

事務事業名	総合的自転車対策事業(交通対策費)				
担当部名	土木部	室課名	総務交通室	室課長名	山下 厚仁

### 1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成20年度	改正内容	放置自転車等の処分方法について、放置自転車等措置規程内にある公共団体への無償譲渡の部分を削除。放置自転車等の優先処分(売却)に関する規程を制定。放置自転車等管理システム情報セキュリティ実施手順の変更。											
(2) 直近の改正	平成24年度													
(3) 根拠法令等	自転車の安全利用の促進及び自転車等の駐車対策の総合的推進に関する法律等													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乗せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	6	安全で魅力的なまちづくり	節	2	細節	30							
(6) 目的	対象(誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
	目標(どういう状態にしたいのか)	範囲等	市民等、駅周辺での自転車等利用者											
	結果(どのような効果が得られるのか)	駅周辺における自転車等駐車場の確保及び自転車等の放置防止												
(7) 事業概要	<p>駅周辺の放置自転車等(原付、自動二輪を含む)ゼロを目的に、駅周辺の自転車等放置禁止区域内での放置防止の啓発・指導及び放置自転車等の移送(撤去)を実施する。あわせて、駅周辺で自転車駐車場の運営を行う。</p> <p>移送自転車等は、「放置自転車等管理システム」により適切な保管・返還・処分を行う。システムの活用により、自転車コールセンターでの返還の案内、問い合わせ対応を行う。また、放置自転車対策として、レンタサイクル事業を行う。</p> <p>交通対策費は、自転車等放置防止指導、自転車等移送、自転車等保管・返還・処分、レンタサイクルの業務を所管する。</p>													
(8) H27事業別予算コード	会計	1	款	8	項	2	目	5	大事業	5	中事業	1	小事業	1
(9) 事業費と財源の内訳	項目		平成26年度(2014年度)		平成27年度(2015年度)		平成28年度(2016年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		130,332	129,267	131,932	130,647	137,219							
	人件費	職員数	人	4.00	2.00	2.50	2.50							
		総額(B)	千円	33,200	15,894	20,880	20,880							
	総事業費(A+B)		163,532	145,161	152,812	151,527	149,474							
	特定財源(C)		59,297	63,681	48,126	51,637	49,096							
	(内訳)	国	0	0	0	0	0							
		府	0	0	0	0	0							
		その他	59,297	63,681	48,126	51,637	49,096							
	市負担(D)		104,235	81,480	104,686	99,890	100,378							
	(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
		その他	0	0	0	0	0							
一般財源		104,235	81,480	104,686	99,890	100,378								
財源計(C+D)		163,532	145,161	152,812	151,527	149,474								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	(公社)吹田市シルバー人材センター										
			②	(特非)吹田・江坂ビジョン21										
			③											
	主な委託内容		自転車等保管・返還・処分業務等											
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①												
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容 自転車等移送実施日数	目標値	(単位:日)	265.00	269.00	270.00	
			実績値	(単位:日)	265.00	269.00		
			達成度(%)		100.0	100.0		
	目標値の積算方法	自転車等移送業務実施予定日数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		607.75	563.30	
				一般財源(単位:千円)		367.50	371.34	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00			
達成度(%)			0.0	0.0				
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00		0.00
(2) 成果指標	①	指標内容 放置自転車等の撤去台数	目標値	(単位:台)	31,753.00	31,753.00	31,753.00	
			実績値	(単位:台)	10,661.00	12,656.00		
			達成度(%)		33.6	39.9		
	目標値の積算方法	過去最高年間撤去台数31,753台(12年度)を基準に「放置台数0=達成度100%とし、31,753台減少を目標とする	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		15.11	11.97	
				一般財源(単位:千円)		9.13	7.89	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00			
達成度(%)			0.0	0.0				
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
	一般財源(単位:千円)				0.00	0.00		
(3) が困難な場合	①	活動内容				目標		
	②	成果内容				達成状況		
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		平成20年度から自転車駐車場管理業務を含め、一元化して総合的自転車対策事業を実施している。自転車等放置防止指導など、放置自転車等をなくすことは、都市環境の悪化を防止し、災害時の防災活動の確保や歩行者の安全及び通行機能の保持を図ることにつながるため、今後も必要な事業である。					

# 事務事業分析シート

所属名	総務交通室	事業名	総合的自転車対策事業(交通対策費)	事業区分	その他
事務事業番号	00701				

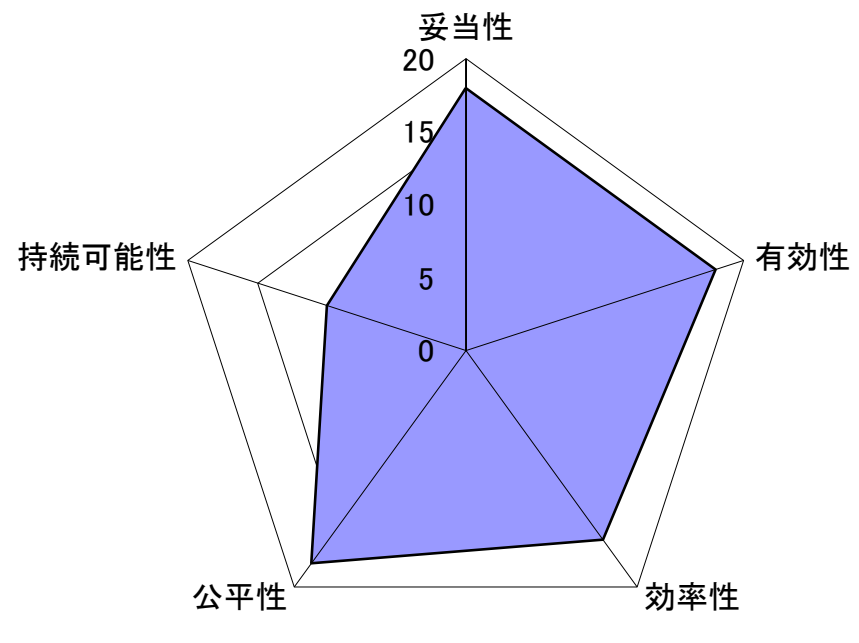
## 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
		b. 市が関与すべき事業であるが、その範囲や担い手には民間委託など検討の余地がある。(3点)	3	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。		
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。		
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。		
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。		
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	16	①単位当たりコストは適正ですか。		
		b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。		
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。		
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。		
		b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。		
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。		
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	10	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。		
		b. 事業費は増大したが、市負担はそれほど増加していない。(3点)	3	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。		
		b. 事業費は増大するが、市負担は増大しない見込みである。(3点)	3	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。		
		c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。				
b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点		
評価点合計 (100点満点)	<b>80</b>	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	総務交通室	事務事業番号	00701
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他												
(2)各視点からの評価結果	 <table border="1" style="display: none;"> <caption>各視点からの評価結果 (Radar Chart Data)</caption> <thead> <tr> <th>視点</th> <th>評価結果 (0-20)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>妥当性</td> <td>18</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>持続可能性</td> <td>8</td> </tr> </tbody> </table>			視点	評価結果 (0-20)	妥当性	18	有効性	15	効率性	12	公平性	10	持続可能性	8
視点	評価結果 (0-20)														
妥当性	18														
有効性	15														
効率性	12														
公平性	10														
持続可能性	8														
(3)現状分析	<p>自転車等放置防止対策として、放置防止指導員による啓発や移送(撤去)業務を行っており、駅周辺の放置自転車等は減少している。平成20年度からは、自転車駐車場管理業務を含め一元化して委託することで、業務効率の向上及び事業費の削減を図っている。また、放置自転車等管理システムの導入により、保管自転車等の適切な管理及びスムーズな問い合わせ対応等を行っている。</p>														

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

## 事務事業評価調書

事務事業名	総合的自転車対策事業(自転車駐車場費)				
担当部名	土木部	室課名	総務交通室	室課長名	山下 厚仁

### 1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成20年度	改正 内容	吹田市自転車駐車場条例改正(吹田市自転車等の放置防止に関する条例の一部改正に伴い、無断使用に対する措置についての文言変更)											
(2) 直近の改正	平成27年度													
(3) 根拠法令等	自転車の安全利用の促進及び自転車等の駐車対策の総合的推進に関する法律、吹田市自転車駐車場条例等													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乗せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	6	安全で魅力的なまちづくり	節	2	細節	40							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
	目標 (どういう状態にしたいのか)	範囲等	市民											
	結果 (どのような効果が得られるのか)	駅周辺における自転車等駐車場の確保及び自転車等の放置防止												
(7) 事業概要	<p>駅周辺の放置自転車等(原付、自動二輪を含む)ゼロを目的に、駅周辺の自転車等放置禁止区域内で放置防止の啓発・指導及び放置自転車等の移送(撤去)を実施する。あわせて駅周辺で自転車駐車場の運営を行う。</p> <p>移送自転車等は、「放置自転車等管理システム」により適切な保管・返還・処分を行う。システムの活用により、自転車コールセンターでの返還の案内、問合せ対応を行う。また、放置自転車対策として、レンタサイクル事業を行う。</p> <p>自転車駐車場費は、自転車駐車場及びコールセンターの運営を所管する。</p>													
(8) H27事業別 予算コード	会計	1	款	8	項	5	目	6	大事業	1	中事業	1	小事業	1
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		384,137	378,110	400,994	397,110	488,978							
	人件費	職員数	人	1.90	1.90	2.40	2.40	1.50						
		総額(B)	千円	15,770	15,100	20,045	20,045	12,255						
	総事業費(A+B)		399,907	393,210	421,039	417,155	501,233							
	特定財源(C)		384,137	378,110	400,994	397,110	395,110							
	(内訳)	国	0	0	0	0	0							
		府	0	0	0	0	0							
		その他	384,137	378,110	400,994	397,110	395,110							
	市負担(D)		15,770	15,099	20,045	20,045	106,123							
	(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
		その他	0	0	0	0	0							
一般財源		15,770	15,099	20,045	20,045	106,123								
財源計(C+D)		399,907	393,209	421,039	417,155	501,233								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	(公社)吹田市シルバー人材センター										
			②											
			③											
	主な委託内容		自転車駐車場管理業務、コールセンター業務											
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①												
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容	自転車駐車場の利用台数	目標値	(単位:台)	19,369.00	19,369.00	19,369.00
			実績値	(単位:台)	16,008.00	15,791.00		
		達成度(%)				82.6	81.5	
	目標値の積算方法	自転車駐車場の収容台数を目標値とする	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		24.56	26.42	
				一般財源(単位:千円)		0.94	1.27	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00			
達成度(%)					0.0	0.0		
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
(2) 成果指標		①	指標内容	放置禁止区域内放置台数	目標値	(単位:台)	4,111.00	4,111.00
	実績値			(単位:台)	3,091.00	3,692.00		
	達成度(%)				75.2	89.8		
	目標値の積算方法	平成16年度放置台数調査時の台数である4,111台を基準に、4,111台減少させることを目標にする。	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		127.21	112.99	
				一般財源(単位:千円)		4.89	5.43	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00			
達成度(%)					0.0	0.0		
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
	一般財源(単位:千円)				0.00	0.00		
(3) が困難な場合	①	活動内容				目標		
	②	成果内容				達成状況		
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		JR岸辺駅の吹田操車場跡地整備など、駅周辺の再整備が行われるなか、自転車を取り巻く状況を踏まえ、今後も自転車利用は高まると考えられる。 一方で、民間駐輪場の整備が遅れている現状では、現在設置している自転車駐車場の管理を継続していく必要がある。					

## 事務事業分析シート

所属名	総務交通室	事業名	総合的自転車対策事業(自転車駐車場費)	事業区分	その他
事務事業番号	00702				

### 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点			
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 b. 市が関与すべき事業であるが、その範囲や担い手には民間委託など検討の余地がある。(3点)	3	点	
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点	
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点	
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点	
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点	
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3	点	
(2) 有効性 (20点)	16	③事業は目標どおりに進捗していますか。 b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3	点	
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点	
		①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点	
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点	
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点	
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点	
(3) 効率性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点	
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点	
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点	
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点	
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 b. 事業費は増大したが、市負担はそれほど増加していない。(3点)	3	点	
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 b. 事業費は増大するが、市負担は増大しない見込みである。(3点)	3	点	
(4) 公平性 (20点)	18	③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点	
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点	
		評価点合計 (100点満点)	82	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	総務交通室	事務事業番号	00702
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>自転車は、自動車と比較して移動距離当たりのエネルギーが少なく、有害な排出ガスが発生しない。健康増進効果への期待や、大気汚染や地球温暖化問題が叫ばれる現在、環境負荷の少ない移動手段として、自転車が見直されている。また、維持にかかる費用が低く、使用台数は増加している。</p> <p>一方で、歩道を通行できることから、特に自動車や歩行者など他の交通も集中する駅周辺に放置自転車が集中し、交通環境を悪化させている。特に、吹田市は北摂他市に比べて公共交通機関の駅数が多く、放置自転車の影響も大きい。</p> <p>駅周辺を自転車等放置禁止区域に指定し、放置自転車等を撤去すると同時に、市営自転車駐車を運営することにより、自転車を放置してもよいというふるまいを変え、良好な駅周辺の交通環境を創造することにより、上位施策に寄与するところが非常に大きい。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

国(国土交通省)から、府を通じ、たびたび自転車駐車場における自動二輪車(特に125ccまで)の受入れを積極的に進めるよう通知されている。しかし、自転車駐車場は、自転車の安全利用の促進及び自転車等の駐車対策の総合的推進に関する法律により整備しているが、自動二輪車の駐車場は駐車場法に規定されている。そのため、既設市営自転車駐車場へ自動二輪車を受入れる場合、消防関係法令により大規模な消防設備の設置が義務付けられているため、直ちに現在の需要に見合うよう整備することは、非常に困難な状況である。



## 事務事業評価調書

事務事業名	千里ニュータウンプラザ施設管理事業				
担当部名	土木部	室課名	総務交通室	室課長名	山下 厚仁

### 1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成24年度	改正 内容	なし											
(2) 直近の改正	なし													
(3) 根拠法令等	自転車の安全利用の促進及び自転車等の駐車対策の総合的推進に関する法律、吹田市自転車駐車場条例等													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乗せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	6	安全で魅力的なまちづくり	節	2	細節	40							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
	目標 (どういう状態にしたいのか)	範囲等	市民											
	結果 (どのような効果が得られるのか)	駅周辺における自転車等駐車場の確保及び自転車等の放置防止												
(7) 事業概要	<p>駅周辺の放置自転車等(原付、自動二輪を含む)ゼロを目的に、駅周辺の自転車等放置禁止区域内で放置防止の啓発・指導及び放置自転車等の移送(撤去)を実施する。あわせて駅周辺で自転車駐車場の運営を行う。</p> <p>移送自転車等は、「放置自転車等管理システム」により適切な保管・返還・処分を行う。同システムの活用により、自転車コールセンターでの返還の案内、問合せ対応を行う。また、放置自転車対策として、レンタサイクル事業を行う。</p> <p>自転車駐車場費は、自転車駐車場及びコールセンターの運営を所管し、そのうち、本事業では、阪急南千里駅前西第2自転車駐車場が設置されている千里ニュータウンプラザの維持管理経費のみを所管する。</p>													
(8) H27事業別 予算コード	会計	1	款	8	項	5	目	6	大事業	1	中事業	1	小事業	2
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		39,636	39,379	39,804	39,191	40,433							
	人件費	職員数	人	0.10	0.10	0.10	0.10	0.25						
		総額(B)	千円	830	795	836	836	2,043						
	総事業費(A+B)		40,466	40,174	40,640	40,027	42,476							
	特定財源(C)		0	0	0	0	0							
	(内訳)	国	0	0	0	0	0							
		府	0	0	0	0	0							
		その他	0	0	0	0	0							
	市負担(D)		40,466	40,174	40,640	40,027	42,476							
	(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
		その他	0	0	0	0	0							
一般財源		40,466	40,174	40,640	40,027	42,476								
財源計(C+D)		40,466	40,174	40,640	40,027	42,476								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	吹田南千里PFI株式会社										
			②											
			③											
	主な委託内容		千里ニュータウンプラザの設計建設維持管理											
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①												
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 阪急南千里駅前西第2自転車駐車場の利用台数	目標値	(単位:台)	98.00	98.00	98.00
			実績値	(単位:台)	66.00	71.00	
			達成度(%)		67.3	72.4	
	目標値の積算方法	自転車駐車場の収容台数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	608.70	563.76	563.76
				一般財源(単位:千円)	608.70	563.76	
	(2) 成果指標	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00	
達成度(%)				0.0	0.0		
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00	0.00
				一般財源(単位:千円)	0.00	0.00	
(3) 困難な場合		①	指標内容 阪急南千里駅周辺放置禁止区域内原動機付自転車放置台数	目標値	(単位:台)	77.00	77.00
	実績値			(単位:台)	73.00	75.00	
	達成度(%)			94.8	97.4		
	目標値の積算方法	平成16年度放置台数調査時の実績台数77台を基準に、「放置台数0=達成度100%」とし、77台減少させることを目標とする	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	550.33	533.69	533.69
				一般財源(単位:千円)	550.33	533.69	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00	0.00	
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
①	活動内容				目標		
	②	成果内容				達成状況	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		原動機付自転車を取巻く状況をふまえ、今後も利用は横ばいになると考えられる。一方で、民間駐輪場の整備が遅れている現状では、現在設置している自転車駐車場の管理を継続していく必要がある。				

## 事務事業分析シート

所属名	総務交通室	事業名	千里ニュータウンプラザ管理事業	事業区分	その他
事務事業番号	00703				

### 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	16	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3	点
(3) 効率性 (20点)	14	①単位当たりコストは適正ですか。 c. 単位当たりコストは高く、見直す必要がある。(1点)	1	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	16	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	<b>80</b>	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	総務交通室	事務事業番号	00703
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>原動機付自転車は、自動車と比較して小型であり、移動距離当たりのエネルギーが少なく、有害な排出ガスの量も少ない。          大気汚染や地球温暖化問題が叫ばれる現在、また、維持にかかる費用が比較的安く、使用台数がほぼ横ばい状態にある。          一方、小型であることから、特に自動車や歩行者など他の交通も集中する駅周辺に放置が集中し、交通環境を悪化させている。特に、吹田市は北摂他市に比べて公共交通機関の駅数が多く、その影響も大きい。          駅周辺を自転車等放置禁止区域に指定し、放置原動機付自転車を撤去すると同時に、市営自転車駐車場の運営により、自転車を放置してもよいというふるまいを変え、良好な駅周辺の交通環境を創造することにより、上位施策に寄与するところが非常に大きい。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

## 事務事業評価調書

事務事業名	工事積算システム事業				
担当部名	土木部	室課名	総務交通室	室課長名	船木 充善

### 1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	平成14年度	改正 内容	なし											
(2)	直近の改正	なし													
(3)	根拠法令等	なし													
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	6	安全で魅力的なまちづくり	節	2	細節	0							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他									
		範囲等	道路等の設計・積算・作図												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	数量計算書、設計書、設計図等の作成及び施工管理の効率化												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	積算データの一元化により、積算業務上の対応範囲が大幅に増加することや、処理速度・能力が上がることで省力化が進み、歩掛けの変更や設計変更等に機敏に対応できる													
(7)	事業概要	「新土木工事積算体系」に基づく積算システムの構築とネットワーク化により、膨大な積算・設計情報を共有化し、効率的な設計・積算業務を進める													
(8)	H27事業別 予算コード	会計	1	款	8	項	1	目	1	大事業	2	中事業	1	小事業	2
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		1,323	1,244	1,502	1,080	3,003							
		人件費	職員数	人	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50						
			総額(B)	千円	4,150	3,974	4,176	4,176	4,085						
		総事業費(A+B)		5,473	5,218	5,678	5,256	7,088							
		特定財源(C)		0	0	0	0	0							
		(内訳)	国		0	0	0	0	0						
			府		0	0	0	0	0						
			その他		0	0	0	0	0						
		市負担(D)		5,473	5,218	5,678	5,256	7,088							
		(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
			その他		0	0	0	0	0						
一般財源			5,473	5,218	5,678	5,256	7,088								
財源計(C+D)		5,473	5,218	5,678	5,256	7,088									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
		<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	(株)ビーイング										
				②											
				③											
		主な委託内容		土木工事積算システムの保守											
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①													
		②													
		③													
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
(1) 活動指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(2) 成果指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(3) の3が困難な場合を示す	①	活動内容	「新土木工事積算体系」に基づく積算システムの構築とネットワーク化により、膨大な積算・設計情報を共有化し、効率的な設計・積算業務を進める			目標	数量計算書、設計書、設計図等の設計図書作成及び施工管理の効率化
	②	成果内容	数量計算書、設計書、設計図等の設計図書作成及び施工管理の効率化			達成状況	積算データの一元化により、積算業務上の対応範囲が大幅に増加し、処理速度・能力が上がり、設計等の変更に機敏に対応できる。
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		本システムは、各業務の基盤となるものであり、本システムを抜きに設計等を行うことは考えられない。今後とも効率化やコストダウンの方策を考えつつ、事業を継続する必要がある。				

## 事務事業分析シート

所属名	総務交通室	事業名	工事積算システム事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	01094				

### 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 c. 市民ニーズは低下している。又は市民ニーズを把握できていない(1点)	1	点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	20	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	0	①サービスの対象範囲は適正ですか。 内部管理		点
		②サービスの水準は適正ですか。 内部管理		点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 内部管理		点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 内部管理		点
(5) 持続可能性 (20点)	16	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	87	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	総務交通室	事務事業番号	01094
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他												
(2)各視点からの評価結果	<table border="1"> <caption>各視点からの評価結果 (Radar Chart Data)</caption> <thead> <tr> <th>視点</th> <th>評価結果 (点数)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>妥当性</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>持続可能性</td> <td>5</td> </tr> </tbody> </table>			視点	評価結果 (点数)	妥当性	15	有効性	10	効率性	10	公平性	5	持続可能性	5
視点	評価結果 (点数)														
妥当性	15														
有効性	10														
効率性	10														
公平性	5														
持続可能性	5														
(3)現状分析	<p>積算データの一元化により、積算業務上の対応範囲が大幅に増加し、処理速度・能力が高まり、省力化が進んだ。そのため、歩掛けの変更や設計変更等に機敏に対応できている。</p>														

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)



## 事務事業評価調書

事務事業名	南千里庁舎管理事業				
担当部名	土木部	室課名	総務交通室	室課長名	船木 充善

### 1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	昭和57年度	改正内容	なし				
(2)	直近の改正	なし						
(3)	根拠法令等	吹田市事務分掌規則						
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乗せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)				
		一部にチェックした場合はその説明						
(5)	総合計画の体系	章 6	安全で魅力的なまちづくり	節 2	細節 50			
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理 <input type="checkbox"/> 建設事業 <input type="checkbox"/> その他	範囲等 南千里庁舎				
		目標 (どういう状態にしたいのか)	南千里庁舎の施設・整備等を良好な状態に維持管理する。					
		結果 (どのような効果が得られるのか)	南千里庁舎で業務する各室が円滑に業務を実施できる。					
(7)	事業概要	南千里庁舎の施設・設備の維持管理業務						
(8)	H27事業別 予算コード	会計 1	款 8	項 1	目 1	大事業 3	中事業 1	小事業 1
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)
		事業費(A)		19,562	18,805	19,232	18,960	32,176
		人件費	職員数 人	1.00	1.50	1.00	1.00	2.00
			総額(B) 千円	8,300	11,921	8,352	8,352	16,340
		総事業費(A+B)		27,862	30,726	27,584	27,312	48,516
		特定財源(C)		32	62	40	0	23
		(内訳)	国	0	0	0	0	0
			府	0	0	0	0	0
			その他	32	62	40	0	23
		市負担(D)		27,830	30,664	27,544	27,312	48,493
(内訳)	地方債	0	0	0	0	0		
	その他	0	0	0	0	0		
	一般財源	27,830	30,664	27,544	27,312	48,493		
財源計(C+D)		27,862	30,726	27,584	27,312	48,516		
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施						
		<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	① (株)イズミ				
				② (株)ビルマスター				
				③ (株)関根水道工業所				
			主な委託内容	南千里庁舎警備・清掃、空調設備点検業務外				
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①						
		②						
		③						
<input type="checkbox"/> その他	内容							

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容	南千里庁舎の床面積	目標値	(単位:m <sup>2</sup> )	3,474.00	3,474.00	0.00
			実績値	(単位:m <sup>2</sup> )	3,474.00	3,474.00		
		達成度(%)				100.0	100.0	
	目標値の積算方法	目標値の設定が困難であるため、延べ床面積と庁舎として使用できる面積の対比を使用した。	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		8.04	7.86	
				一般財源(単位:千円)		8.04	7.86	
	(2) 成果指標	②	指標内容		目標値	(単位:)	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)					0.0	0.0		
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
(3) が困難な場合		①	指標内容		目標値	(単位:)	0.00	0.00
	実績値			(単位:)	0.00	0.00		
	達成度(%)				0.0	0.0		
	目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00			
達成度(%)				0.0	0.0			
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)		0.00	0.00		
①	活動内容			目標				
	②	成果内容	南千里庁舎の施設・設備の維持管理	達成状況	南千里庁舎で業務を行う各室が、円滑に業務を行っている			
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定		
	評価の説明	道路・公園の施設整備、維持管理を行う拠点施設であり、また、非常時には防災活動の実働を担う拠点施設として引続き良好に維持管理をしていくために、現状どおり事業を継続させる必要がある。そのうえでさらに、老朽化に伴い緊急に補修が必要な箇所については、改修工事を実施する必要がある。						

## 事務事業分析シート

所属名	総務交通室	事業名	南千里庁舎管理事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	01095				

### 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	12	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 b. 市が関与すべき事業であるが、その範囲や担い手には民間委託など検討の余地がある。(3点)	3	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	18	②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	10	②迅速なサービスの提供に努めていますか。 c. 迅速なサービス提供はあまり考えていない。(1点)	1	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 c. 他の事業・取組との連携は検討していない。(1点)	1	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。 内部管理		点
(4) 公平性 (20点)	0	②サービスの水準は適正ですか。 内部管理		点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 内部管理		点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 内部管理		点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 c. 事業費、市負担とも大幅に増大している。(1点)	1	点
(5) 持続可能性 (20点)	6	②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 c. 事業費、市負担とも増大し、それに見合う財源の確保も見込めない。(1点)	1	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
		評価点合計 (100点満点)	57	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))

所属名	総務交通室	事務事業番号	01095
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

南千里庁舎を良好に管理することで、土木部各室の業務が円滑に行うことができる。また、非常時の防災活動についても円滑に行うことができる。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>建設から32年が経ち、施設・設備の老朽化が進んでおり、適切に維持管理していくためには大規模改修を行う必要がある。平成28年度には、一部改修を行う予定である。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

## 事務事業評価調書

事務事業名	迷惑駐車対策事業				
担当部名	土木部	室課名	総務交通室	室課長名	船木 充善

### 1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成6年度	改正 内容	違法駐車等防止の指導啓発業務委託から防止啓発活動の実施											
(2) 直近の改正	平成22年度													
(3) 根拠法令等	吹田市違法駐車等の防止に関する条例													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乗せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	6	安全で魅力的なまちづくり	節	2	細節	30							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
	目標 (どういう状態にしたいのか)	範囲等	違法駐車等											
	結果 (どのような効果が得られるのか)	市民生活に支障を及ぼすおそれのある違法駐車等を防止することにより、道路施設において安全で快適な交通環境の整備を図る												
(7) 事業概要	<p>平成22年1月から吹田警察署管内で駐車監視員が導入され、重点地域及び重点路線で活動を行うことによって、違法駐車防止に効果があり、吹田市として違法駐車等の防止啓発活動を地域、市民団体、行政の連携を図りながら警察と協力し、違法駐車等防止対策やノボリ及び、看板設置など啓発活動を行う事によって、効果的な事業の充実を図っていく。</p>													
(8) H27事業別 予算コード	会計	1	款	8	項	2	目	5	大事業	2	中事業	1	小事業	1
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		497	368	396	423	383							
	人件費	職員数	人	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50						
		総額(B)	千円	4,150	3,974	4,176	4,176	4,085						
	総事業費(A+B)		4,647	4,342	4,572	4,599	4,468							
	特定財源(C)		0	0	0	0	0							
	(内訳)	国		0	0	0	0	0						
		府		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
	市負担(D)		4,647	4,342	4,572	4,599	4,468							
	(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
一般財源		4,647	4,342	4,572	4,599	4,468								
財源計(C+D)		4,647	4,342	4,572	4,599	4,468								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
			②											
			③											
	主な委託内容													
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①											
②														
③														
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
(1) 活動指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(2) 成果指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(3) の3が困難な場合を示す	①	活動内容	違法駐車等の防止啓発活動を地域、市民団体等と連携を図りながら警察と協力し、違法駐車等防止対策やノボリ及び、看板設置などを行う。			目標	違法駐車等を防止することにより、道路施設において、安全で快適な交通環境の整備
	②	成果内容	ノボリ、看板・サインキューブの作成設置、啓発ビラの配布			達成状況	ノボリや看板・サインキューブの設置及び啓発ビラの配布による違法駐車等の減少
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		違法駐車等の防止啓発活動を地域、市民団体等と連携を図りながら警察と協力し、違法駐車等防止対策やノボリ、看板・サインキューブの設置などを行うことによる違法駐車等を防止することは、道路施設において安全で快適な交通環境の整備に寄与することから、継続的に取り組んでいく必要がある。				

事務事業分析シート

所属名	総務交通室	事業名	迷惑駐車対策事業	事業区分	その他
事務事業番号	01096				

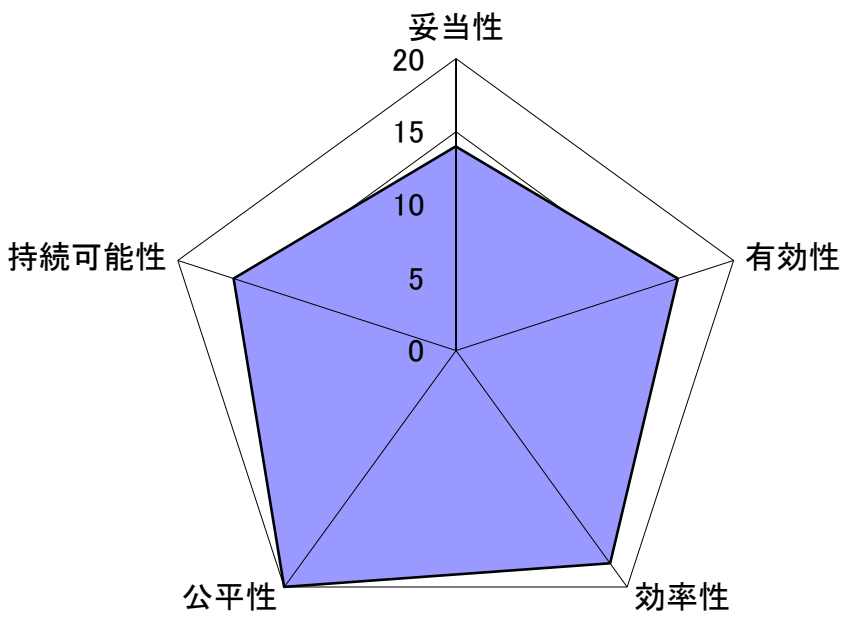
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	14	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	16	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。 a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	16	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	84	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	総務交通室	事務事業番号	01096
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>当該事業は、主に啓発看板の設置や啓発ビラの配布による、違法駐車や迷惑駐車等の防止に係る啓発である。市民ニーズも高く、交通事故の原因や市民生活の支障を及ぼす恐れのある違法駐車等の防止について、交通管理者と連携した活動を図る目的からも、公平性は高く積極的に取組む必要がある。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)



## 事務事業評価調書

事務事業名	地域公共交通活性化事業				
担当部名	土木部	室課名	総務交通室	室課長名	船木 充善

### 1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	平成21年度	改正内容	なし											
(2)	直近の改正	なし													
(3)	根拠法令等	地域公共交通の活性化及び再生に関する法律													
(4)	市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乗せ、横出し等あり)	<input checked="" type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	6	安全で魅力的なまちづくり	節	2	細節	40							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
		範囲等	吹田市全域												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	公共交通の利便性の向上												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	公共交通利用者の増加、自動車に過度に依存しない交通環境													
(7)	事業概要	市内の公共交通事業者、学識経験者、市民等で「吹田市地域公共交通活性化協議会」を組織し、本協議会において公共交通の利便性向上や利用促進のため、平成21年度に「吹田市地域公共交通総合連携計画」を策定した。平成22年度からは本計画に位置づけた事業の実施や、実施に向けた調整を行っており、平成24年度には各事業の進め方についての方針が概ねまとまったため、協議会は解散したが、引き続き各事業者が事業を推進している。平成27年度は吹田市公共交通マップ2016の作成を行った。													
(8)	H27事業別 予算コード	会計	1	款	8	項	2	目	5	大事業	3	中事業	1	小事業	1
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		559	518	556	519	556							
		人件費	職員数	人	1.50	1.50	1.50	1.50	0.50						
			総額(B)	千円	12,450	11,921	12,528	12,528	4,085						
		総事業費(A+B)		13,009	12,439	13,084	13,047	4,641							
		特定財源(C)		0	36	17	0	35							
		(内訳)	国	0	0	0	0	0							
			府	0	0	0	0	0							
			その他	0	36	17	0	35							
		市負担(D)		13,009	12,403	13,067	13,047	4,606							
		(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
			その他	0	0	0	0	0							
一般財源	13,009		12,403	13,067	13,047	4,606									
財源計(C+D)		13,009	12,439	13,084	13,047	4,641									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
				②											
				③											
		主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①													
		②													
		③													
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/	
			実績値	(単位:)	0.00	0.00		
		達成度(%)		0.0	0.0			
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
	(2) 成果指標	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00		0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0				
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(3) が困難な場合		①	活動内容	吹田市地域公共交通総合連携計画に位置づけた事業の実施			目標	公共交通の利便性の向上 公共交通の利用促進
	②			成果内容	吹田市公共交通マップの作成			達成状況
		(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止
	評価の説明		公共交通を持続的に確保していくためには、公共交通の利用促進が不可欠であり、そのためには公共交通利用者が安心して快適に利用できるように公共交通マップ等わかりやすい情報の提供等が必要である。同時に、公共交通の必要性について、利用者自身にも認識してもらう必要がある。また、公共交通マップの作成にかかる費用については削減に向けた更なる取り組みが必要である。					

## 事務事業分析シート

所属名	総務交通室	事業名	地域公共交通活性化事業	事業区分	その他
事務事業番号	01097				

### 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	16	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	14	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 b. 他の事業・取組との連携を検討をしている。(3点)	3	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。 a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	14	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
評価点合計 (100点満点)	<b>84</b>	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	総務交通室	事務事業番号	01097
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他												
(2)各視点からの評価結果	<table border="1"> <caption>各視点からの評価結果 (Radar Chart Data)</caption> <thead> <tr> <th>視点</th> <th>評価結果 (点数)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>妥当性</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>持続可能性</td> <td>10</td> </tr> </tbody> </table>			視点	評価結果 (点数)	妥当性	20	有効性	15	効率性	10	公平性	10	持続可能性	10
視点	評価結果 (点数)														
妥当性	20														
有効性	15														
効率性	10														
公平性	10														
持続可能性	10														
(3)現状分析	<p>公共交通マップを利用することによる電車、バスの利用促進について、効果がみられることから、公共交通マップの作成については、公共交通の利用促進のための情報提供の充実という目標を達成するために適切な事業である。</p>														

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

## 事務事業評価調書

事務事業名	コミュニティバス運行事業				
担当部名	土木部	室課名	総務交通室	室課長名	船木充善

### 1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	平成15年	改正 内容	なし											
(2)	直近の改正	なし													
(3)	根拠法令等	なし													
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乗せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	6	安全で魅力的なまちづくり	節	2	細節	40							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
		範囲等	公共交通不便地域												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	公共交通不便地域の緩和、高齢者等の移動手段の確保、主要施設へのアクセス手段の確保												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	地域の活性化、コミュニティの向上													
(7)	事業概要	市内における公共交通不便地域である千里丘地区において、平成18年12月から試験運行を実施し、平成23年4月から本格運行へ移行した。													
(8)	H27事業別 予算コード	会計	1	款	8	項	2	目	5	大事業	3	中事業	2	小事業	1
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		26,131	22,565	36,736	33,601	33,808							
		人件費	職員数	人	1.50	1.50	1.50	1.50	0.50						
			総額(B)	千円	12,450	11,921	12,528	12,528	4,085						
		総事業費(A+B)		38,581	34,486	49,264	46,129	37,893							
		特定財源(C)		0	0	0	0	0							
		(内訳)	国		0	0	0	0	0						
			府		0	0	0	0	0						
			その他		0	0	0	0	0						
		市負担(D)		38,581	34,486	49,264	46,129	37,893							
		(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
			その他		0	0	0	0	0						
一般財源			38,581	34,486	49,264	46,129	37,893								
財源計(C+D)		38,581	34,486	49,264	46,129	37,893									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
				②											
				③											
		<input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①	阪急バス株式会社										
②															
③															
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
(1) 活動指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(2) 成果指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(3) の3が困難な場合	①	活動内容	市内の公共交通不便地域の緩和、高齢者等の移動手段の確保、主要施設へのアクセス手段の確保等を図るために、本市との協定に基づきコミュニティバスを運行する事業者に対し、補助金を交付する。		目標	公共交通不便地域の緩和、高齢者等の移動手段の確保、主要施設へのアクセス手段の確保	
	②	成果内容	平成18年12月から現在に至るまでの運行期間における利用者数は上昇しており、地域のニーズも高い。		達成状況	利用者は年々増加している。	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		平成18年12月の試験運行開始から現在に至るまでの運行期間における利用者数、収支率共に概ね上昇していることから、地域のニーズの高さが確認されており、今後も事業を継続していくことが必要。ただし、持続可能性の点からも、引き続き補助金交付額の削減に向けた運行経費削減、運行収入の増加に対する取組を事業者と共に進めていくことや更なる利用促進に向けた啓発に取り組んでいくことが必要である。				

## 事務事業分析シート

所属名	総務交通室	事業名	コミュニティバス運行事業	事業区分	その他
事務事業番号	01098				

### 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 b. 市が関与すべき事業であるが、その範囲や担い手には民間委託など検討の余地がある。(3点)	3	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	16	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	14	①単位当たりコストは適正ですか。 b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 b. 他の事業・取組との連携を検討をしている。(3点)	3	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。 a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 b. 受益者負担を求めているが、見直しを検討する余地がある。(3点)	3	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
評価点合計 (100点満点)	<b>82</b>	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	総務交通室	事務事業番号	01098
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>コミュニティバスの利用促進については、年間利用者数を前年度と比較すると+2300人、率にして約1.8%の増加となっており、地域にとっての必要性が確認され、公共交通不便地域の緩和のための継続的な運行という目的を達成するために必要な事業である。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)



## 事務事業評価調書

事務事業名	交通バリアフリー推進事業				
担当部名	土木部	室課名	総務交通室	室課長名	船木 充善

### 1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	平成13年度	改正内容	新たなバリアフリー化の目標を設定											
(2)	直近の改正	平成22年度													
(3)	根拠法令等	高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律													
(4)	市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乗せ、横出し等あり)	<input checked="" type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	6	安全で魅力的なまちづくり	節	2	細節	30							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
		範囲等	主に吹田市バリアフリー基本構想による市内全14駅周辺の9重点整備地区内及び市民												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	旅客施設、車両、道路等の移動等円滑化及び心のバリアフリー化の促進												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	高齢者、障がい者等の移動上及び施設の利用上の利便性及び安全性の向上並びに市民の高齢者、障がい者等に対する理解及び協力が得られる													
(7)	事業概要	市内全14駅周辺9地区の基本構想に基づき実施される旅客施設、道路、信号機等の施設設置管理者等が実施する特定事業について、段階的、継続的な発展(スパイラルアップ)を図っていくため、障がい当事者や市民、施設設置管理者等で構成される吹田市バリアフリー懇談会により特定事業の進捗報告や意見交換、懇談会委員による整備後の現地点検を行っている。また、心のバリアフリーを促進するための啓発を行っている。													
(8)	H27事業別 予算コード	会計	1	款	8	項	2	目	5	大事業	3	中事業	3	小事業	1
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		193	100	180	169	167							
		人件費	職員数	人	2.50	1.50	2.00	2.00	0.50						
			総額(B)	千円	20,750	11,921	16,704	16,704	4,085						
		総事業費(A+B)		20,943	12,021	16,884	16,873	4,252							
		特定財源(C)		0	0	0	0	0							
		(内訳)	国		0	0	0	0	0						
			府		0	0	0	0	0						
			その他		0	0	0	0	0						
		市負担(D)		20,943	12,021	16,884	16,873	4,252							
		(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
			その他		0	0	0	0	0						
一般財源			20,943	12,021	16,884	16,873	4,252								
財源計(C+D)		20,943	12,021	16,884	16,873	4,252									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
				②											
				③											
		主な委託内容													
		<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①											
②															
③															
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
(1) 活動指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(2) 成果指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(3) が困難な場合	①	活動内容	懇談会の開催による旅客施設、道路等の施設設置管理者等による特定事業の進捗状況の確認、評価及び整備後の現地点検によるスパイラルアップ。心のバリアフリーの促進			目標	旅客施設、車両、道路等の移動等円滑化及び心のバリアフリー
	②	成果内容	懇談会の開催により、施設設置管理者等が実施する特定事業の実施状況の把握、情報提供、委員相互による意見交換ができた。			達成状況	平成27年度は現地点検とバリアフリー懇談会を各1回開催した。
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		旅客施設、車両、道路等の一体的なバリアフリー化の促進については、懇談会開催による整備状況把握と定期的な現地点検等による事後の評価(スパイラルアップ)を図ることで以後の事業にも生かされていくことから、継続的に取り組んでいくことが必要。				

事務事業分析シート

所属名	総務交通室	事業名	交通バリアフリー推進事業	事業区分	その他
事務事業番号	01099				

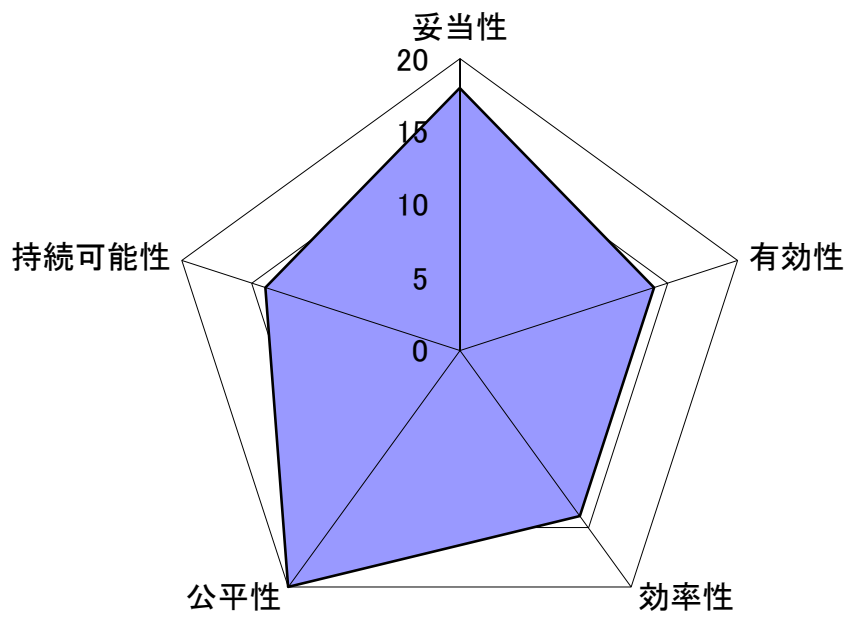
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	14	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3	点
(3) 効率性 (20点)	14	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 c. 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない。(1点)	1	点
(4) 公平性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。 a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	14	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
評価点合計 (100点満点)	80	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	総務交通室	事務事業番号	01099
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>毎年開催している懇談会において、各事業者の整備状況を把握することにより、基本構想に掲げている事業の全体的な整備状況を確認している。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

平成23年3月末に、国の移動円滑化の促進に関する基本方針の見直しが実施され、旅客施設や車両、道路等について平成32年度末を期限として、より高い水準の新たなバリアフリー化の目標が設定された。

## 事務事業評価調書

事務事業名	交通バリアフリー化整備補助事業				
担当部名	土木部	室課名	総務交通室	室課長名	船木 充善

### 1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成14年度	改正内容	新たなバリアフリー化の目標を設定											
(2) 直近の改正	平成22年度													
(3) 根拠法令等	高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乗せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	6	安全で魅力的なまちづくり	節	2	細節	30							
(6) 目的	対象(誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
	目標(どういう状態にしたいのか)	範囲等	旅客施設、車両等											
	結果(どのような効果が得られるのか)	移動等円滑化、利便性向上 高齢者、障がい者等が公共交通機関を利用して移動する際の利便性と安全性の向上が図れる												
(7) 事業概要	バリアフリー化設備を整備する公共交通事業者に対し、補助金の交付や国からの補助金交付を受けるための、吹田市バリアフリー化設備等整備事業促進協議会の開催により支援を行うことで、旅客施設や車両等の移動円滑化、利便性向上を促進していく。													
(8) H27事業別予算コード	会計	1	款	8	項	2	目	5	大事業	3	中事業	4	小事業	1
(9) 事業費と財源の内訳	項目		平成26年度(2014年度)		平成27年度(2015年度)		平成28年度(2016年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		2,253	1,156	1,050	212	2,204							
	人件費	職員数	人	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00						
		総額(B)	千円	8,300	7,947	8,352	8,352	8,170						
	総事業費(A+B)		10,553	9,103	9,402	8,564	10,374							
	(内訳)	特定財源(C)		0	0	0	0	0						
		国		0	0	0	0	0						
		府		0	0	0	0	0						
	その他		0	0	0	0	0							
	(内訳)	市負担(D)		10,553	9,103	9,402	8,564	10,374						
		地方債		0	0	0	0	0						
その他		0	0	0	0	0								
一般財源		10,553	9,103	9,402	8,564	10,374								
財源計(C+D)		10,553	9,103	9,402	8,564	10,374								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
			②											
			③											
	主な委託内容													
<input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①	公共交通事業者											
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/	
			実績値	(単位:)	0.00	0.00		
			達成度(%)		0.0	0.0		
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00		/
実績値			(単位:)	0.00	0.00			
達成度(%)			0.0	0.0				
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00				
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00				
(2) 成果指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/	
			実績値	(単位:)	0.00	0.00		
			達成度(%)		0.0	0.0		
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00		/
実績値			(単位:)	0.00	0.00			
達成度(%)			0.0	0.0				
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00				
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00				
(3) が困難な場合を示す	①	活動内容	バリアフリー化設備を整備する公共交通事業者等に対する補助金の交付や国からの補助金交付を受けるための協議会の開催を行う。			目標	旅客施設や車両等のバリアフリー化を促進	
	②	成果内容	市内鉄道駅舎や車両等のバリアフリー化の促進が図られる。			達成状況	平成27年度には、国及び市からの補助金交付によりノンステップバスを1台導入	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input checked="" type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		市内鉄道駅舎や車両等のバリアフリー化設備を整備する、公共交通事業者等に対する補助金の交付や国からの補助金交付を受けるための協議会の開催を行うことにより、旅客施設や車両等のバリアフリー化が促進され、高齢者や障がい者等が公共交通機関を利用して移動する際の利便性と安全性が向上することから、継続的に取り組んでいくことが必要である。					

# 事務事業分析シート

所属名	総務交通室	事業名	交通バリアフリー化整備補助事業	事業区分	その他
事務事業番号	01100				

## 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。		
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。		
a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点		
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。		
b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点		
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。		
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。		
a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点		
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。		
a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点		
(3) 効率性 (20点)	20	①単位当たりコストは適正ですか。		
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。		
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。		
a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点		
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。		
a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点		
(4) 公平性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。		
		a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
		②サービスの水準は適正ですか。		
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。		
a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点		
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。		
a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点		
(5) 持続可能性 (20点)	16	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。		
		b. 事業費は増大するが、市負担は増大しない見込みである。(3点)	3	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。		
b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点		
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。		
a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点		
評価点合計 (100点満点)	92	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	総務交通室	事務事業番号	01100
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

平成27年2月13日に閣議決定された、「交通政策基本計画」においてバリアフリーをより一層身近なものにするという目標において、車両のバリアフリー化の目標値(2020年度末)の設定、また旅客交通・物流のサービスレベルを更なる高みへ引き上げるという目標では、バスICカードシステムやバスロケーションシステムの導入等の目標値(2020年度末)が設定されており、必要性の高い事業である。

3 事務事業の現状分析

(1) 本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2) 各視点からの評価結果			
(3) 現状分析	<p>持続可能性については、事業者(バス事業者や鉄軌道事業者等)が実施する事業の増減に伴い、市負担額の増減の可能性もあることから、計画的な事業実施による負担額の平準化を図る必要がある。</p> <p>また、事業者が国からの補助金交付を受ける際には、市が協議会を開催することにより生活交通改善計画の作成し、事業者が補助金交付申請時に計画書を添付することが必要である。このため市からの補助金交付の有無に係らず、協議会の開催については継続的に行う必要がある。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

平成23年3月末に国の移動円滑化の促進に関する基本方針の見直しが行われ、旅客施設や車両・道路等について平成32年度末を期限とした、より高水準の新たなバリアフリー化の目標が設定された。

また、平成27年2月13日に閣議決定された、「交通政策基本計画」においてバリアフリー化や公共交通の利便性の向上の新たな目標が設定された。



## 事務事業評価調書

事務事業名	交通事故をなくす運動事業				
担当部名	土木部	室課名	総務交通室	室課長名	船木充善

### 1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	昭和40年	改正内容	組織改正に伴う事務局名称変更											
(2) 直近の改正	平成27年													
(3) 根拠法令等	「交通事故をなくす運動」吹田市推進協議会会則、吹田市交通事故をなくす運動事業補助金交付要領													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乗せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	6	安全で魅力的なまちづくり	節	2	細節	30							
(6) 目的	対象(誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
	目標(どういう状態にしたいのか)	範囲等	幼児から高齢者まで、全市民											
	結果(どのような効果が得られるのか)	交通安全教育の実施、各種の特別事業の実施によって交通安全意識の向上を図る												
(7) 事業概要	春、秋の全国交通安全運動により各種事業を実施し、交通安全の啓発に努める。また、交通安全教育を通して、交通ルールを守り、交通事故のないまちづくりを進めていく。													
(8) H27事業別予算コード	会計	1	款	8	項	2	目	5	大事業	4	中事業	1	小事業	1
(9) 事業費と財源の内訳	項目		平成26年度(2014年度)		平成27年度(2015年度)		平成28年度(2016年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		1,000	1,000	1,000	1,000	1,000							
	人件費	職員数	人	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00						
		総額(B)	千円	16,600	15,894	16,704	16,704	16,340						
	総事業費(A+B)		17,600	16,894	17,704	17,704	17,340							
	特定財源(C)		0	16	0	0	0							
	(内訳)	国	0	0	0	0	0							
		府	0	0	0	0	0							
		その他	0	16	0	0	0							
	市負担(D)		17,600	16,878	17,704	17,704	17,340							
	(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
その他		0	0	0	0	0								
一般財源		17,600	16,878	17,704	17,704	17,340								
財源計(C+D)		17,600	16,894	17,704	17,704	17,340								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
			②											
			③											
	主な委託内容													
<input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①	「交通事故をなくす運動」吹田市推進協議会											
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 交通安全教育、交通安全啓発行事	目標値	(単位:回)	131.00	131.00	/
			実績値	(単位:回)	133.00	133.00	
			達成度(%)		101.5	101.5	
	目標値の積算方法 交通安全教育の実施回数、交通安全運動啓発行事の回数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	127.02	133.11		
			一般財源(単位:千円)	127.02	133.11		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(2) 成果指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(3) が困難な場合を示す	①	活動内容				目標	
	②	成果内容	交通安全教育や啓発活動により、市民の交通安全意識の向上と交通事故の未然防止が図られる。			達成状況	交通安全意識の向上により、市民の交通事故を防止し、減少している。
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		交通事故の根絶には関係機関とも連携を図りながら、本事業を継続して実施していくことが必要である。				

## 事務事業分析シート

所属名	総務交通室	事業名	交通事故をなくす運動事業	事業区分	その他
事務事業番号	01101				

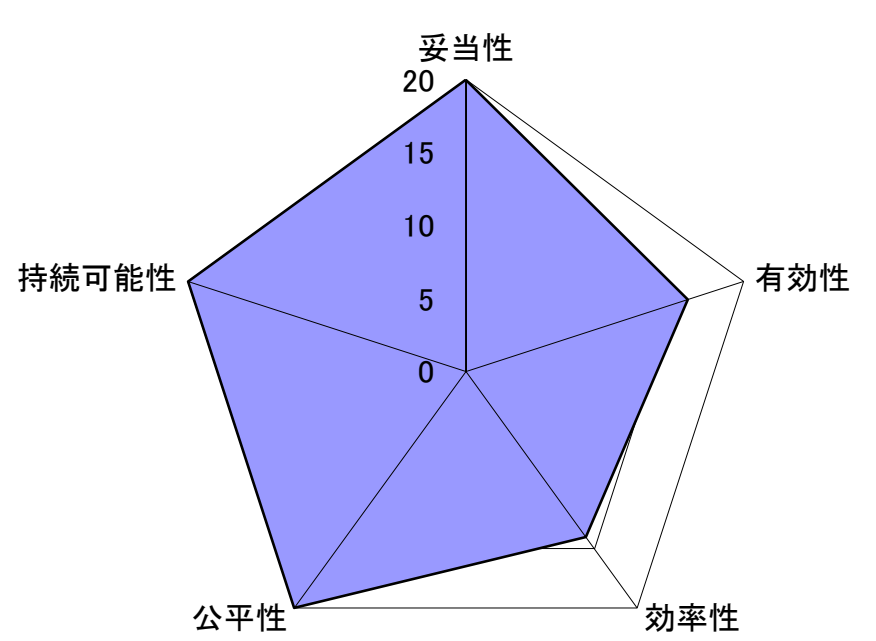
### 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	16	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	14	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 c. 他の事業・取組との連携は検討していない。(1点)	1	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。 a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	20	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	<b>90</b>	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	総務交通室	事務事業番号	01101
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他												
(2)各視点からの評価結果	 <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <caption>各視点からの評価結果 (推定値)</caption> <thead> <tr> <th>視点</th> <th>評価結果 (点数)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>妥当性</td> <td>18</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>持続可能性</td> <td>10</td> </tr> </tbody> </table>			視点	評価結果 (点数)	妥当性	18	有効性	15	効率性	12	公平性	10	持続可能性	10
視点	評価結果 (点数)														
妥当性	18														
有効性	15														
効率性	12														
公平性	10														
持続可能性	10														
(3)現状分析	<p>近年の交通事故件数は減少傾向にあり、本事業による効果があると推測される。</p>														

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

## 事務事業評価調書

事務事業名	鉄道施設等耐震補強補助事業				
担当部名	土木部	室課名	総務交通室	室課長名	船木 充善

### 1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	平成26年度	改正内容	なし				
(2)	直近の改正	なし						
(3)	根拠法令等	特定鉄道等施設等に係る耐震補強に関する省令						
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乗せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)				
		一部にチェックした場合はその説明						
(5)	総合計画の体系	章 6	安全で魅力的なまちづくり	節 2	細節 30			
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他		
		範囲等	鉄道及び軌道事業者					
		目標 (どういう状態にしたいのか)	大規模地震(震度6強から7程度)発生時や発生後に、輸送機能を早期に回復させるため、構造物の被害を軽微な損傷に留める。					
	結果 (どのような効果が得られるのか)	鉄道等利用者の安全が確保され、また緊急輸送道路である新御堂筋線への鉄道高架橋の損傷による被害を最小限にし、道路の機能を確保・早期復旧に寄与する。						
(7)	事業概要	<p>鉄道等事業者が実施する特定鉄道等施設(橋梁、トンネル等)の耐震補強事業に対して補助金を交付することにより、発生が切迫しその影響も大きいとされている首都直下型地震、南海トラフ地震で大きな揺れが想定される本市において、鉄道等利用者の安全が確保され、また緊急輸送道路である新御堂筋線への鉄道高架橋の損傷による被害を最小限にし、道路の機能を確保・早期復旧に寄与する。</p>						
(8)	H27事業別 予算コード	会計 1	款 8	項 2	目 5	大事業 3	中事業 5	小事業 1
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)
		事業費(A)		15,805	14,349	33,480	25,253	26,250
		人件費	職員数	1.00	1.00	0.25	0.25	1.00
			総額(B)	8,300	7,947	2,088	2,088	8,170
		総事業費(A+B)		24,105	22,296	35,568	27,341	34,420
		特定財源(C)		0	0	0	0	0
		(内訳)	国	0	0	0	0	0
			府	0	0	0	0	0
			その他	0	0	0	0	0
		市負担(D)		24,105	22,296	35,568	27,341	34,420
		(内訳)	地方債	0	0	0	0	0
			その他	0	0	0	0	0
一般財源	24,105		22,296	35,568	27,341	34,420		
財源計(C+D)		24,105	22,296	35,568	27,341	34,420		
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施						
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①				
				②				
				③				
		<input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①	鉄道及び軌道事業者			
				②				
③								
<input type="checkbox"/> その他	内容							

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/	
			実績値	(単位:)	0.00	0.00		
		達成度(%)		0.0	0.0			
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
	(2) 成果指標	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00		0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0				
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(3) が困難な場合を示す		①	活動内容	特定鉄道等施設(橋梁、トンネル等)を耐震補強する鉄道等事業者に対する補助金の交付を行う。			目標	特定鉄道等施設(橋梁、トンネル等)の耐震化を促進
	②	成果内容	特定鉄道等施設(橋梁、トンネル等)の耐震化を図られる			達成状況	平成27年度には、北大阪急行電鉄南北線では18基の橋梁下部の耐震補強を実施し、大阪市交通局では耐震補強の設計を実施	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		鉄道等事業者が実施する特定鉄道等施設(橋梁、トンネル等)の耐震補強事業は、発生が切迫する南海トラフ地震で大きな揺れが想定される本市において、鉄道等利用者の安全が確保され、また緊急輸送道路である新御堂筋線への鉄道高架橋の損傷による被害を最小限にし、道路の機能を確保・早期復旧に寄与することから、継続的に取り組んでいくことが必要。					

# 事務事業分析シート

所属名	総務交通室	事業名	鉄道施設等耐震補強事業費補助事業	事業区分	その他
事務事業番号	01102				

## 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。		
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。		
a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点		
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。		
b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点		
(2) 有効性 (20点)	14	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。		
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。		
b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3	点		
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。		
b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3	点		
(3) 効率性 (20点)	16	①単位当たりコストは適正ですか。		
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。		
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。		
a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点		
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。		
c. 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない。(1点)	1	点		
(4) 公平性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。		
		a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
		②サービスの水準は適正ですか。		
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。		
a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点		
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。		
a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点		
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。		
		b. 事業費は増大したが、市負担はそれほど増加していない。(3点)	3	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。		
a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点		
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。		
a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点		
評価点合計 (100点満点)	<b>86</b>	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	総務交通室	事務事業番号	01102
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

当該事業は、国と地方(大阪府及び吹田市)による協調補助であることから、事業の必要性は極めて高い。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>持続可能性については、「特定鉄道等施設に係る耐震補強に関する指針」により定められた、事業の完了目標年度である平成29年度という期限があり、事業者が実施する事業の増減に伴い市負担額の増減の可能性もあることから、計画的な事業実施による市負担額の平準化を図る必要がある。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

平成25年4月1日施行の「特定鉄道施設等施設に係る耐震補強に関する省令」により、その発生が逼迫する首都直下型地震及び南海トラフ地震に対する安全性を向上させるため、鉄道事業者に耐震対策の努力義務が課せられた。  
 本市は、当地震により震度6強が想定されている地域に指定されていることから、緊急輸送道路である国道423号(新御堂筋線)への鉄道高架橋の損傷による被害を最小限にし、道路の機能確保、早期復旧に寄与することが不可欠であります。  
 また大阪府においては、緊急輸送道路である国道423号線は、府下においても重要な緊急輸送道路と位置付けており、御堂筋線及び北大阪急行南北線の耐震補強は、重要度の高い事業と認識している。



## 事務事業評価調書

事務事業名	千里山駅前自転車駐車場整備事業				
担当部名	土木部	室課名	総務交通室	室課長名	船木 充善

### 1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成21年度	改正 内容												
(2) 直近の改正	なし													
(3) 根拠法令等	自転車等の安全利用の促進及び自転車等の駐車対策の総合的推進に関する法律、自転車駐車場条例													
(4) 市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乗せ、横出し等あり)	<input checked="" type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	6	安全で魅力的なまちづくり											
	節	2												
	細節	40												
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理 <input type="checkbox"/> 建設事業 <input checked="" type="checkbox"/> その他											
	目標 (どういう状態にしたいのか)	範囲等	阪急千里山駅周辺											
	結果 (どのような効果が得られるのか)	駅周辺の自転車等利用者の駐車場確保及び自転車等の放置防止												
(7) 事業概要	<p>阪急千里山駅周辺において、都市再生機構の直接施行制度により平成21年度に自転車駐車場整備事業に着手し、平成25年7月から供用開始している。平成27年度から平成41年度まで都市再生機構へ自転車駐車場整備にかかる長期割賦分に関する経費の返済が残っている。</p>													
(8) H27事業別 予算コード	会計	1	款	8	項	5	目	17	大事業	1	中事業	1	小事業	1
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		0	0	316	190	190							
	人件費	職員数	人	0.00	0.00	0.25	0.25	0.25						
		総額(B)	千円	0	0	2,088	2,010	2,043						
	総事業費(A+B)		0	0	2,404	2,200	2,233							
	特定財源(C)		0	0	0	0	0							
	(内訳)	国		0	0	0	0	0						
		府		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
	市負担(D)		0	0	316	190	2,233							
	(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
一般財源		0	0	316	190	2,233								
財源計(C+D)		0	0	316	190	2,233								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
			②											
			③											
	主な委託内容													
<input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①		独立行政法人 都市再生機構 西日本支社										
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他		内容												

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
(1) 活動指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(2) 成果指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(3) が困難な場合を示す	①	活動内容	阪急千里山駅東側に都市再生機構の直接施行制度により自転車駐車場の整備を行う		目標	駅周辺の自転車等利用者の駐車場確保及び自転車等の放置防止	
	②	成果内容	駅周辺の良好な交通環境の確保		達成状況	平成25年7月阪急千里山駅前東自転車駐車場供用開始	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		当事業により自転車駐車場は完成し平成25年7月より供用開始しているが、都市再生機構の直接施行制度によるため、都市再生機構への長期割賦分の返済が平成27年度から平成41年度まで残る				

## 事務事業分析シート

所属名	総務交通室	事業名	千里山駅前自転車駐車場整備事業	事業区分	その他
事務事業番号	01453				

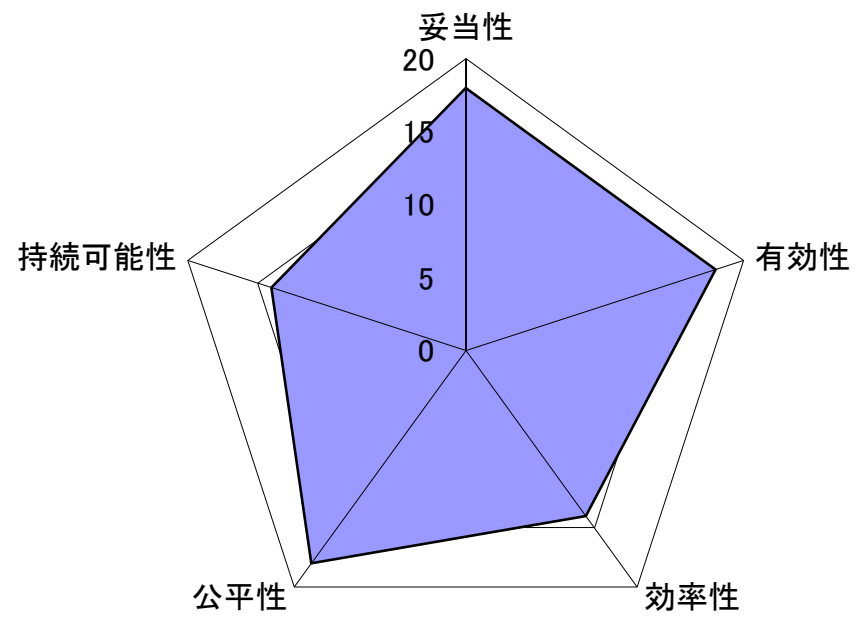
### 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
		b. 市が関与すべき事業であるが、その範囲や担い手には民間委託など検討の余地がある。(3点)	3	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。		
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。		
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。		
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。		
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	14	①単位当たりコストは適正ですか。		
		b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。		
		b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。		
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。		
		b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。		
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。		
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	14	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。		
		c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。				
b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点		
評価点合計 (100点満点)	82	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	総務交通室	事務事業番号	01453
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>平成21年度から阪急千里山駅周辺において、都市再生機構の直接施行制度により自転車駐車場の整備を進め、平成25年度に完成したが、都市再生機構への長期割賦分の返済が平成27年度から平成41年度まで残っている。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

## 事務事業評価調書

事務事業名	自転車走行空間整備事業				
担当部名	土木部	室課名	総務交通室	室課長名	船木 充善

### 1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成27年度	改正 内容	自転車の悪質運転者に対する講習制度の新設											
(2) 直近の改正	平成26年度													
(3) 根拠法令等	道路交通法、安全で快適な自転車利用環境創出ガイドライン													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乗せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	6	安全で魅力的なまちづくり	節	2	細節	50							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
	目標 (どういう状態にしたいのか)	範囲等	自転車利用者等											
	結果 (どのような効果が得られるのか)	自転車の走行が誰にとっても安全で快適なものとなるよう、ハード・ソフト両面から自転車走行環境の整備を図る												
(7) 事業概要	「安全で快適な自転車利用環境創出ガイドライン」や「大阪府自転車走行空間法定外表示実施要領」に基づいて、はしる(自転車走行空間の整備)・とめる(自転車駐車場の充実)・まもる(ルール、マナーの向上)・つかう(自転車の利用促進)の4本の柱を軸とした「自転車走行環境整備計画」の作成を業務委託し、その後計画書に基づいて事業を行っていく。													
(8) H27事業別 予算コード	会計	1	款	8	項	2	目	5	大事業	3	中事業	6	小事業	1
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		0	0	0	33	8,993							
	人件費	職員数	人	0.00	0.00	0.00	0.50	1.00						
		総額(B)	千円	0	0	0	4,020	8,170						
	総事業費(A+B)		0	0	0	4,053	17,163							
	特定財源(C)		0	0	0	0	0							
	(内訳)	国		0	0	0	0	0						
		府		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
	市負担(D)		0	0	0	33	17,163							
	(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
一般財源		0	0	0	33	17,163								
財源計(C+D)		0	0	0	33	17,163								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
			②											
			③											
	主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①												
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/	
			実績値	(単位:)	0.00	0.00		
			達成度(%)		0.0	0.0		
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00		/
実績値			(単位:)	0.00	0.00			
達成度(%)			0.0	0.0				
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00				
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00				
(2) 成果指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/	
			実績値	(単位:)	0.00	0.00		
			達成度(%)		0.0	0.0		
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00		/
実績値			(単位:)	0.00	0.00			
達成度(%)			0.0	0.0				
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00				
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00				
(3) の3が困難な場合を示す	①	活動内容	「自転車走行環境整備計画」を作成し、作成した計画書に基づいて計画的に事業を実施する。			目標	誰もが安心して自転車を利用できる環境の計画的・継続的に整備	
	②	成果内容	自転車利用に関する市民アンケートを実施したことにより、市民の意識やニーズを把握できた。			達成状況	平成27年度は、自転車走行環境整備計画作成準備会議を2回開催。合わせて自転車利用に関する市民アンケートを実施。	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		<p>自転車は幼児から高齢者まで幅広い年齢層に利用され、買物、通勤、通学など生活に密接に関連し近年利用者はますます増えています。しかし、利用者の増加に伴い自転車利用者のマナーの低下や危険運転等により重大な事故が発生している。</p> <p>このような中で、本市では政策課題【ミッション24】に掲げられており、誰にとっても自転車走行が安全なものとなるようにするために事業を継続する必要がある。</p>					

## 事務事業分析シート

所属名	総務交通室	事業名	自転車走行空間整備事業	事業区分	その他
事務事業番号	01455				

### 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。		
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。		
a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点		
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。		
b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点		
(2) 有効性 (20点)	16	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		
		c. 定量的な指標設定ができておらず、目標や達成状況の分析も十分できていない。(1点)	1	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。		
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。		
a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点		
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。		
a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点		
(3) 効率性 (20点)	16	①単位当たりコストは適正ですか。		
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。		
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。		
b. 他の事業・取組との連携を検討をしている。(3点)	3	点		
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。		
b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点		
(4) 公平性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。		
		a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
		②サービスの水準は適正ですか。		
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。		
a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点		
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。		
a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点		
(5) 持続可能性 (20点)	16	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。		
		c. 事業費、市負担とも大幅に増大している。(1点)	1	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。		
a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点		
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。		
a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点		
評価点合計 (100点満点)	<b>86</b>	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	総務交通室	事務事業番号	01455
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

政策課題【Mission24】において、3 高質で安全なまちづくりの【12】に掲げられた事業であり、だれにとっても自転車走行が安全なものとなるようするために必要な事業である。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>有効性、効率性、持続可能性については、平成28年度(2016年度)策定予定の「自転車走行環境整備計画」において、整備路線及び整備手法の選定を慎重に行い、計画的な事業実施による事業費の平準化を図る必要がある。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

平成24年11月に国土交通省、文部科学省、警察庁が連携して策定した「安全で快適な自転車利用環境創出ガイドライン」が、平成28年度(2016年度)に改正が予定されている。